

【養殖クルマエビの水揚げ】

令和6年9月18日（水）、南島原市の深江町漁協が行っているクルマエビ養殖場において、今年度初めての養殖クルマエビの水揚げが行われました。

今年度のクルマエビ養殖は、養殖池の池干しや珪藻の増殖など養殖開始前の準備が整った7月7日に稚エビが池に入れられて始まりました。

水揚げ作業は早朝から行われ、養殖池から水揚げされたクルマエビは陸上の出荷作業場の生け簀に入れられます。大きさごとに仕分けされ、まだ小さいエビはもう少し大きくなるよう気合を入れられて再び養殖池に戻されます。

この日、水揚げされたクルマエビは10cm強、10～20グラムのサイズが取り上げられました。当面はクルマエビの成長を見ながら水揚げの予定とのこと。

その後、おがくずを敷き詰めた箱にクルマエビが並べられ、上からおがくずを被せ保冷剤を入れて出荷されます。この時期の深江町漁協の養殖クルマエビは市場出荷のみで、主に関西方面の市場に出荷されるそうです。

一般販売、本格出荷については、もう少し大きく育った11月に入ってからです。有明海ですくすくと育った美味しいクルマエビ。もうしばらくお待ちください。



養殖池から水揚げされ、仕分け待ち



仕分け作業中



出荷用に箱詰めされた養殖クルマエビ



この日のクルマエビの測定